

2019 年度 第 1 期 成蹊大学大学院

入学試験問題

経済経営研究科 博士前期課程

[A 小論文試験]

受験上の注意

1. 問題は5ページあります。すべての問いに解答しなさい。
2. 解答時間は45分です。
3. 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
4. 解答開始の合図の後、まず受験番号を解答用紙の所定欄に記入しなさい。

2019年度 第1期 成蹊大学大学院 入学試験問題  
経済経営研究科 博士前期課程

小論文試験・設問

子どもの体力低下について書かれた以下の文章を読み、問1から問5への解答を、解答用紙に書きなさい。

注意事項

解答はすべて解答用紙に記すこと。問題用紙に記入した解答は採点対象とはならない。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

(NSCA ジャパン第 10 回総会基調講演「子どもの体力の現状と課題」内藤久士、より一部抜粋および加筆・改定)

問 1 図 1 は、男子の体力診断・運動能力テスト合計点の年次推移を表しており、昭和 39 年の値を基準(100)として各年度の値を相対的に示したものである。子どもの体力低下に関して、図 1 から見受けられる大まかな傾向を述べ、必要に応じて比較分析を行え。

問 2 図 2 に関して次の各設問に答えよ。

(1) 図 2 の縦棒線は、昭和 39 年からの 1500m 走の記録を、平均値±標準偏差 (SD) で表したものである。この図から、子どもの体力低下に関して、どのような傾向が見受けられるか。

(2) 図 2 の太線は 3 年ごとの移動平均値を表している。移動平均値によって何を調べているか。また、図 2 の移動平均線からどのようなことが分かるかを述べよ。

問3 図3は、中学2年生(男子・女子)の1週間の総運動時間と体力合計点の分布を表したものである。図3から、男子、女子の集団ごとに、どのような特徴が見受けられるかを述べよ。また、男子集団と女子集団の比較分析を行え。

問4 図4は生活状況と全身持久力テストの関係を調べた結果である。図4の結果から、どのような特徴が見受けられるかを述べよ。また、体力の低い子どものライフスタイルはどのようなものだと考えられるか、各自の意見を自由に述べよ。

問5 子どもの体力向上に向けての取り組みについて、各自の意見を自由に述べよ。

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

図1 体力診断、運動能力テスト合計点の年次推移(男子)  
(文部科学省「体力・運動能力調査報告書」のデータを基に作図)

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

図2 持久走（1500m走）の経年変化（13歳男子）

（文部科学省「体力・運動能力調査報告書」のデータを基に作図）

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

図3 中学2年生の1週間の総運動時間と体力合計点

（文部科学省「平成20年全国体力・運動能力、運動習慣等調査報告書」より引用）

この問題は、著作権の関係により掲載できません。

図4 生活習慣と全身持久力

(文部科学省「体力・運動能力調査報告書」のデータを基に作図)

2019 年度 成蹊大学大学院  
経済経営研究科 博士前期課程  
入学試験（第 1 期）問題

[B 専門科目試験]

1 専門科目試験(経営学・会計学) p.1-p.4

受験上の注意

- 1 解答時間は 45 分です。
- 2 解答はすべて解答用紙に記入しなさい。
- 3 解答開始の合図の後、受験番号を解答用紙の所定欄に記入しなさい。
- 4 専門科目試験(経営学・会計学)を受験する者は、p.1 の注意事項もよく読むこと。

**B 専門科目試験(経営学・会計学)** (p.1~p.4)

**注意事項**

- 以下の問題(経営学:問1~問10, 会計学:問11~問20), 全20問の中から, 5問を選択して, 解答を解答用紙に記入しなさい。解答の順番は番号順でなくてもよいが, 選択した問題の番号を解答の最初に明記すること。

**経営学の問題** (問1~問10)

- 問1 企業の社会的責任について説明したうえで, 事例を挙げて, その意義を論じなさい。
- 問2 意思決定のIDCモデルとは説明しなさい。
- 問3 公平理論(equity theory)について, 企業における報酬制度の観点から, 説明しなさい。
- 問4 カッツ(Katz, R. L)が提唱した「優れた管理者のスキル」について記述しなさい。
- 問5 コスト優位と差別化優位について説明しなさい。
- 問6 PPM(product portfolio management)分析について, どのような企業が活用できるかを含めて, 説明しなさい。
- 問7 革新的イノベーション(radical innovation)と漸新的イノベーション(incremental innovation)について, それぞれ事例を示しながら, 説明しなさい。

(次ページ, 経営学の問題続く)



問 8 テイラー（Taylor, F. W）が提唱した科学的管理法が生産管理に与えている影響について論じなさい。

問 9 マーケティングにおける 4P について説明しなさい。

問 10 情報システム戦略の役割について述べなさい。

（以上、経営学の問題）  
（次ページ、会計学の問題に続く）

会計学の問題 (問11～問20)

- 問11 貸借対照表に関する次の5つの文章を読み、適切ではないと考えられるものを1つ選んでその文章番号を答えなさい。また、なぜ不適切なのか、その理由を簡潔に述べなさい(文章番号の記入⇒理由の記入、という順番で解答すること)。
- ① 貸借対照表の負債および資本の側は、企業が必要とする資金の調達方法を示している。
  - ② 貸借対照表の資産の側は、企業の資金の運用形態を示している。
  - ③ 資本は自己資本とも呼ばれ、負債は他人資本とも呼ばれる。
  - ④ 資産から負債を控除した金額は、企業の財産の総額を示している。
  - ⑤ 貸借対照表は、ある一定時点における企業の財政状態を示したものである。
- 問12 損益計算書とキャッシュ・フロー計算書に関する次の5つの文章を読み、適切ではないと考えられるものを1つ選んでその文章番号を答えなさい。また、なぜ不適切なのか、その理由を簡潔に述べなさい(文章番号の記入⇒理由の記入、という順番で解答すること)。
- ① 損益計算書の構造は損益計算書等式によって示される。
  - ② キャッシュ・フロー計算書が示すのは、キャッシュの流入と支出の状況である。
  - ③ 損益計算書上の利益は、収入から支出を差し引くことによって求められる。
  - ④ キャッシュ・フロー計算書では、営業や購買などの通常の営業活動は営業キャッシュ・フローの区分で示される。
  - ⑤ 損益計算書は、企業がどのようにして利益を得たのか、ということの説明する財務表である。
- 問13 企業の買収や合併の会計処理では、「パーチェス法」と呼ばれる方法を使うのが一般的である。この方法の特徴と問題点について簡潔に述べなさい。
- 問14 「全部原価計算」と「直接原価計算」のそれぞれの内容について簡潔に説明しなさい。なお、解答には、「変動費」と「固定費」という用語を必ず含めなさい。
- 問15 連結の会計処理では、連結子会社については個別の財務諸表を合算するが、関連会社や非連結子会社については「持分法」を適用する。「持分法」とはどのような方法であろうか。簡潔に説明しなさい。

(次ページ、会計学の問題続く)

- 問 16 「正味現在価値法」(NPV)と「内部利益率法」(IRR)のそれぞれについて簡潔に説明しなさい。また、設備投資にあたって相互排他的投資案を評価する場合、どちらの方法を採るべきであろうか。理由を簡潔に述べなさい。
- 問 17 「企業会計原則」とは、企業会計の実務の中で慣習として発達したものの中から一般に公正妥当と認められたところを要約したものであり、必ずしも法令によって強制されなくとも、すべての企業がその会計を処理するにあたって従わなければならない慣習規範である。「企業会計原則」は、「一般原則」、「損益計算書原則」、「貸借対照表原則」から構成されるが、財務諸表作成のための指針となる規範的な原則は「一般原則」であり7つの原則から構成される。この7つの「一般原則」の名称を述べなさい。
- 問 18 「減価償却」とは、有形固定資産の取得原価をその耐用年数にわたって費用として配分する会計手続である。「減価償却」の代表的な方法を2つ以上述べ、なぜこの手続が必要になるのかについて簡潔に説明しなさい。
- 問 19 企業の長期的な支払い能力を示す財務指標の代表例は、「固定比率」と「固定長期適合率」である。それぞれの指標の計算方法を述べ、財務指標としての情報内容の違いについて簡潔に説明しなさい。
- 問 20 企業会計上の「利益」と税務会計上で計算される「所得」の金額は必ずしも一致はしない。その原因について簡潔に説明しなさい。

(以上、会計学の問題)